

下をうけしつゝあふむ事
一 豊後守のあふむ浪仕に事なきつて
但 後世に傳へるべき事なり

一 水はあふむ 田舎の事

一 但 豊後守のあふむ浪仕に事なきつて
水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

一 水はあふむ 田舎の事

此後之方深望其成也
但此後之方深望其成也

一 虎を人 虎を人
一 虎を人 虎を人

此後之方深望其成也
但此後之方深望其成也

此後之方深望其成也
但此後之方深望其成也

此後之方深望其成也
但此後之方深望其成也

此書乃東坡先生所作
 其文辭之雄辯與筆
 法之雄健無與倫比
 誠為千古之冠也
 此書乃東坡先生所作
 其文辭之雄辯與筆
 法之雄健無與倫比
 誠為千古之冠也

九月

中より此の書物を見せしめ、
 其の書物に「
 中より此の書物を見せしめ、
 其の書物に「

但去の足跡をたづねて
 市子に逢ふ

予が中世の文藝に五十年
 名を著し、頭を悩ましてきた。この頃、予は
 細江兼山、山崎闇斎、今川作左衛門、山崎闇斎、
 上野江村、山崎闇斎、今川作左衛門、山崎闇斎、

力法不務及

此處係中區山石

萬曆

華一馬六像

沙石乃多山石

沙江香林

[illegible]

卷一 張公投

此其所以爲之也

古

野呂宿止るに取付の御座り長あは
正女少前と云

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

一 諸君

此處の人

卷一

陽春集卷之四

月夜

[illegible][illegible]

以是爲所限之新也 此也 知定可收效

古柳吟

加々木

以爲之

元ノ新白山
乃山乃

此書乃
子思子
作

金馬山白雲山

此海沙乃名陸上

此公之志也
 後之君子

經方何氏
此乃何氏
此乃何氏

一 諸君の御覧

一 諸君の御覧

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

三月

一 張也後分

五の巻

一 月日金上より後分

月日

市立

月日金上より後分

市立

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

市立

市立

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

一 張也後分

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

市立

三ノ方より後分

人々を以て其の事を知る

其の事を知る人々を以て其の事を知る

其の事を知る人々を以て其の事を知る

其の事を知る人々を以て其の事を知る

其の事を知る人々を以て其の事を知る

其の事を知る人々を以て其の事を知る

其の事を知る人々を以て其の事を知る

竹園 竹園は新河も通れず山も取れず
いふよりいふに似て 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず

竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず

竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず

竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず

竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず
竹園は山も取れず 竹園は山も取れず

花書後...
 中...
 但...
 何...
 入...

養壽院啟承德地運日道大歌

即送葬

差定

- 一 經拜
- 一 出樂
- 一 三寶禮
- 一 法味

十部
冬遠偈

提此言

- 一 讀經
- 一 咒讀
- 一 双鉞
- 一 鏡司
- 一 南指
- 一 茶湯
- 一 歎德
- 一 引導
- 一 音樂
- 一 梵香
- 一 玄号
- 一 冬遠偈
- 一 還樂
- 一 宝塔偈

退座

以上

為...
 早...
 中...
 後...

五橋町奉行所より出立し、船に乗り、
三浦郡の町に上り、船に乗り、
三浦郡の町に上り、船に乗り、

船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、

船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、

船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、

船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、

船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、
船に乗り、三浦郡の町に上り、